

令和4年度 夢・志チャレンジスクール事業 学校別事業実施内容一覧

小学校

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
1	大手町小	・地域の対象と深くかかわる豊かな体験活動と、体験を通じた学びを自覚したり深めたりする言語活動の充実を図った。そのことにより、「～したい」「もっと～したい」という願いをもち、積極的に周りのもの・こと・人とかかわることで、ふるさとに愛着をもち、自ら学び、ともによりよく生きようとする子どもの姿につながった。	・「友達や動物とかかわりながら、ぐんぐんタウンを創造する」(1年) ・「本町のよさを見つけ、地域の人と関わり、自分の在り方を探る」(3年) ・「パンづくりを通して、暮らしの在り方を問い直す」(6年)
2	東本町小	・夢・志をもって活動する人との出会いや交流を大切に。活動を通して子どもが、差別される人、弱い立場にある人のつらい思いや心の痛みに共感し、憤りをもつとともに、差別解消を目指して今の自分とこれからの自分のあり方を考えるようになった。	・「植物や動物など命あるものとそれに携わる人との出会い、交流」(1・2年) ・「高齢者や障がいのある人との出会い、交流」(3年) ・「部落差別やそれに立ち向かっている人々との出会い、交流」(6年)
3	南本町小	・生活科や総合的な学習の時間を中核として、各教科や領域で身に付けた資質・能力を地域で発揮する学びの場を工夫することで、「自尊感情や自己肯定感を高めながら自信をもって挑戦する姿」「地域(ふるさと)への愛着を高める姿」を目指した。そのために、どの学年も、地域の人・もの・ことと関わる体験活動を実践した。	・「青田川からの挑戦状！」(4年) ・「わたしたちができること～SDG sから考える未来～」(5年) ・「発酵の街 上越～ 街を元気に!～」(6年)
4	黒田小	・地域資源「人、もの、こと」と関わりから地域のよさを実感することを通じて、地域への愛着を抱き、地域に生きる子どもを育てる。そのことを実現するため、地域の「人、もの、こと」を活かした活動を設定し、年間を通じて関わってきた。	・「みんなたいせつ・だれでもなかよし」(1年) ・「黒田のステキな人・もの・こと 発見!」(3年) ・「上越の「きりり人」から学ぼう! Part 2」(6年)
5	飯小	・主体的に学ぶ力を高めるため、対象と繰り返し関わる中で、子どもが課題を見出し、いけるよう活動を工夫した。地域の人から助言をもらったり、共通の関心をもつ子ども同士で解決方法を考えたりする中で、人とかかわる良さを実感する子どもが徐々に増えてきた。	・「まちたんけん」(2年生) ・「大瀬川探検」(4年生) ・「命の学習」(3・4・5年)
6	富岡小	・2年生は、野菜を育てる活動をおとして、自分の成長にも関心をもたせた。5年生は、地域の方から米作りを指導していただき、地域の商店で米販売を経験する等、「食」問題について考えた。6年生は、身近にある職業に目を向け、地域の方の話を聞いて、自分の生き方につなげて考えた。	・「ひろげよう!～町へ 畑へ 未来へ～」(2年) ・「つくろう・守ろう・届けよう わたしたちの米」(5年) ・「人に学び 自分を見つめる」(6年)
7	稲田小	・創立150周年という節目の年に、地域とのつながりをより意識した活動を目指した。学んだことを保護者・地域の方に伝える学習発表会を開催したことで、子どもの学びと地域への愛着を深める場ができた。	・「あそぼう 見つけよう つたえよう」(1年) ・「関川ひまわり探検隊」(4年) ・「つながって 生きる ～現在・過去・未来～」(5年)
8	和田小	・地域の自然や人、もの、ことと進んでかかわることで、自他のよさや和田地区のよさ、課題を認識し、将来への夢を抱いて自分を成長させようとする子どもの育成を目指した。縦割り班活動や学級活動で児童のかかわり合いを重視し、主体的で深い学びを生み出す活動を仕組んだ。	・「川の動植物の生息環境調べ、サケの飼育と放流」 ・「稲作体験活動」 ・「地域の方等から学ぶキャリア教育」
9	大和小	・大和神社や上越妙高駅をはじめとした地域の伝統、そして現代につながるまでの魅力の発見と地域の人々の努力について、体験をおとして探究していく活動を行った。子どもたちは学んだことについて発信したいという気持ちをもち、パンフレット作り等をおとして、地域の人に学びを伝えた。	・「わくわくドキドキ、大和たんけん、わたしたんけん」(2年) ・「ふるさとの恵み矢代川～矢代川のひみつを探ろう ハッピー探検隊～」(4年) ・「あこがれのの人に 出会う旅」(6年)
10	春日小	・上杉謙信公をはじめ、地域の人やふるさとへの愛着を深めながら、主体的に学び、自分を見つめるとともに、春日地域の人々や自然、諸行事とゆたかにかかわり合う子どもを育てることを目指した。地域の「ひと・もの・こと」とかかわり合いながら自分を見つめ、よさや生き方について考える活動の充実を図った。	・「わたしたちの野菜畑」(2年) ・「みんなおいでよ!春日山」(3年) ・「米づくりをしよう」(5年)
11	高志小	・生活科や総合的な学習の時間を中核に、地域の自然(森や川)にふれたり、地域の人(田圃や畑の先生)とかかわったりする活動を主に展開した。地域の「人・もの・こと」と直接かかわることを通じて、地域への関心高めるとともに、主体的に課題解決しようとする子どもの姿が多く見られるようになった。	・「みんななかよし!さくらのうえん」(2年) ・「すてき発見!すみれ探検隊」(3年) ・「世界に誇れる和食の魅力」(5年)
12	諏訪小	・「諏訪小カリキュラム」に沿った学習を展開した。5期ごとに中核となる行事や活動を設定し、課題や対象に前向きに関わって学ぶ子、身に付けたことを生かして深く学び、自分の考えをもてる子、仲間と協力して学び、一歩上の自分(たち)を創り続ける子の育成に取り組んだ。	・「いきものとなかよし」(1・2年) ・「二貫寺の森で楽しみ、学ぼう!」(3・4年) ・「米を作ろう 考えよう私たちの「食生活」(5・6年)
13	三郷小	・地域の教育資源を活用し、その道の達人に学び、五感に響く体験活動と思考をつなぐ表現活動を設定した。地域の人、もの、こと、自然に触れ、学ぶ中で、ふるさとへの愛着を深めることができた。さらに、学習のまとめと地域への発信を通して、目的に向かって、友達と協力し合いながら主体的、意欲的に取り組む姿を実現することができた。	・「ひまわりチャレンジ大作戦!」(2年) ・「からふる探検隊～三郷のお宝を見つけよう～」(3年) ・「WAIになろう ～和・輪・話～」(5年)
14	戸野目小	・郷土への愛着と郷土に生きる誇りをもち、大きな「志」を抱いて、未来を切り拓く子どもを育てる。そのために、「夢おこす力」「みつめる力」「郷土愛」「かかわる力」「やりぬく力」をキャリア教育の視点とし、地域の自然・歴史・文化・人・産業などの教育資源を生かした「ふるさと戸野目」体験学習に取り組んだ。	・戸野目のステキ発見!～つばさ探検隊レッツゴー!～(3年) ・ひまわり米を作ろう! ～米作りを通して見つめるこれからの食生活～(5年) ・自分を見つめ、SDGsから未来を考える(6年)

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
15	上雲寺小	・子どもが「もの、こと、人」とかかわりの中で学びを深められるよう、体験活動を大切に活動を展開するために、地域の方の意見を参考に計画を見直した。計画を再構築することで、地域とのかかわりが増え、子どもの活動が活発になった。	・「大きく育て!よつばっ子畑」(2年) ・「過去を学び、今を知り、未来を語ろう」(4年) ・「人とかかわり、生き方を学ぼう」(6年)
16	大町小	・「わくわく学習」を中核に据え、中型動物飼育や様々な体験活動など、人・もの・ことと繰り返し関わることを通じて、子どもたちの自己表現を目指しながら活動に取り組んだ。地域の人や活動協力者と深く関わることで、地域のよさを実感するとともに、自分ができることを地域に働き掛けるようになった。	・「ハビネスパーク」(1年) ・「山間童心(やまどし)」(4年) ・「町家を彩る」(5年)
17	高士小	・善兵衛学習を中核に据え、学校及び地域の人・もの・ことと繰り返し関わることで、子どもが対象に心を寄せ、思いや願いを膨らませて活動できるように工夫した。地域の人や岩の原衛門の方と深く関わることで、地域のよさを実感するとともに、郷土愛を育むとともに、善兵衛翁の生き方から自分を見つめ直す姿が見られた。	・「いきもの大すき～いのちあるものを育てる～」(1・2年) ・「もっと知りたい ぶどうのこと・善兵衛さんのこと」(3・4年) ・「川上善兵衛さん」の生き方を見つめて、自分の未来を思い描こう(5・6年)
18	八千浦小	・地域探検や地域人材とのかかわりなど、地域素材を生かした活動を展開した。地域行事で活動の成果を発表する機会もあり、子どもが意欲的に活動する姿が見られた。	・「八千浦の宝を見つけよう」(3年) ・「自然・発見調査隊」(4年) ・「過去から未来へ」(6年)
19	直江津小	・ふるさと直江津にある様々な人・もの・ことと出会い、探る活動を行い、直江津のよさに気付き、大切に思う気持ちを育てた。活動を通して、人間の多様性を認め、互いに尊重しつつ、誰もが夢と希望をもって、生き生きと過ごせる社会を創造しようとする思いをもつようになった。	・「チャレンジ!やさいづくりと町たんけん!」(2年) ・「直江津 us 市」(3年) ・「新・直江津百選」(6年)
21	直江津南小	・地域の人、もの、こととの交流や情報発信、地域貢献を進め、地域を愛する子どもの育成に取り組んだ。夢の実現や志を貫いている人の生き方に触れる活動を通して、自分の夢や目標に挑戦しようとする子どもの育成を目指した。	・「みんな大すき スマイルチャレンジ」 ・「直江津発!ときめきあおぞら号!」 ・「ココロ踊る にぎわいクリエイト」
22	北諏訪小	・子どもが主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付け、深い学びが実現するように、設定意図を明確にした体験活動や問題解決的な活動、話し合い活動等を取り入れた。学習を進める中で、子どもたちは自信をもって取り組むようになった。	・「ひみつをいっぱいみつけよう!つたえよう!」(1年) ・「つながって生きる ～環境とつながる・人とつながる～」(4年) ・「食で考える」(5年生)
23	保倉小	・地域から学ぶことを重視して活動を行った。主体的・対話的な学びが実現できるよう、課題解決の過程を大切に。また、振り返りを大切に、学びの内容と子ども自身の成長について確認した。	・「ひつじとなかよし」(1年) ・「おいしい野菜を育てよう」(2年) ・「ジャンボカボチャを育てよう」(3年)
24	有田小	・栽培活動や飼育活動を取り入れた教育課程を開発し実践するため、飼育小屋・学校田・学校畑・学級園などの拡充や補修、借用等を行った。活動では地域との連携を図り、地域の先達としての願いや意見等も取り入れた。体験活動を通じ、子どもたちに必要な資質・能力が身に付いてきている。	・地域の公共施設・文化財等の調査活動(3年) ・自然環境の保護・愛護活動(4年) ・稲作体験活動(5年)
25	春日新田小	・直東学園(直江津東中学校区の各小中学校)で推進している小中一貫したキャリア教育や自校の特色を生かした教育活動をベースとして、夢と志、郷土愛を育む教育活動を位置づけた教育課程を編成した。	・「わたしたちの野菜畑」(2年) ・「たいようコスモスプロジェクト～春日新田の地域元気しよう～」(4年) ・「未来をえがこう!プロフェッショナルに学ぶ」(6年)
26	国府小	・主体的に学ぶ力を高め、自己の生き方について考えを深める子どもを育成するため、子どもの思いや願いに沿った探求課題を設定し、解決に向かう過程を大切に。体験と言語活動を大切に学習を重ねることで、子どもは、実感を伴った学びをつくることができた。	・「みんなで遊んで、だいすきいっぱい」(1年) ・「たいようエコプロジェクト～山と海を未来へつなぐ～」(4年) ・「生きる」を学ぶ～これからは生きる私たち～(6年)
27	谷浜小	・豊かな自然と地域の伝統文化に学ぶ活動を中心に、体験したことを各教科等で豊かに表現することを大切にしてきた。一人一人の子どもが自分から進んで課題解決ができるよう、子どもの思いを大切に活動を設定したことで、どの子も意欲的に活動に取り組み、地域を好きになり、大切に思う気持ちを高めることができた。	・「わたしたちの野菜ばたけ」(2年) ・「桑取川とのかかわり」(3・4年) ・「ふるさとを支える人々」(5・6年)
29	高田西小	・ふるさと、地域の一人としての自覚と愛着を深め、仲間と共に成長する姿を目指し、実践を行った。子どもは、様々な体験を通して探究的な見方・考え方を働かせ、課題を見付け、考えを伝え合いながら課題解決を図り、自身のよりよい生き方や将来について考えを深めたりすることができた。	・「みて きてい かんじて つたえあおう」(1年) ・「向き合おう!考えよう! ぼく・わたしの大切にしたいこと」(4年) ・「もっとよい自分へ そして未来を広げよう」(6年)
30	安塚小	・子どもの主体的、協働的に学ぶ力を高めるため、地域の人材や素材をいかした体験活動の充実を図った。学びのフィールドを地域に広げ、繰り返し対象と関わることを通じて、子どもは地域のよさに気付くとともに地域に対する愛着や探求意欲を高めながら活動に取り組んだ。	・「やすづかのやさいづくり」(1・2年) ・「ふるさと安塚探検隊」(3・4年) ・「ふるさとに貢献しよう」(5・6年)

令和4年度 夢・志チャレンジスクール事業 学校別事業実施内容一覧

小学校

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
31	浦川原小	・地域の特色ある「もの・人・こと」のよさに充分浸る活動に重点を置き、故郷への愛着と誇りを育むことを目指し、今年度も活動を行った。柴又小交流活動事業、幼保小中学校連携を生かし、人と人、人とのつながりを深める交流活動を継続した。	・「つくろう！たいよう博物館 ～宝物でものづくり～」(3年) ・「浦川原DREAM ～すてきをみつけてつなげてつくろう～」(4年) ・「おいしい！がいっぱい浦川原」(5年)
34	大島小	・ふるさと大島を愛し、未来に夢をもち、主体的に学習や諸活動に取り組む子どもの育成を目指して、地域学習や人とのかかわる活動を実施した。子どもたちは、活動のめあてを明確にもち、地域の自然や人と接することで、その魅力を感じ、考え、学んでいた。そして、活動の振り返り、自分の成長を確認することができた。	・「雪割太鼓の継承」(5・6年) ・「ウサギを育てよう」(1・2年) ・「夢・志を育む講演会」(全校)
35	牧小	・牧を愛し、自然や人の姿に学び、その姿から自分の将来を思い描く子どもを育てるために、地域資源(人的・物的)を活用し、カリキュラムを編成・実施した。体験的で探究的な学習を積み重ねることで、子どもは実感的理解を深め、学びと生活が強く結び付いていることに気付いた。	・「みんななかよし みんなともだち 「はっけん！やさい、牧、じぶんのこと」(1年、2年) ・「大切にしよう！つながる水と森」(3・4年) ・「牧のおいしさを広めよう」(5・6年)
36	柿崎小	・柿崎を愛し、動植物や地域の自然や歴史、人と探究的にかかわることを大切にしたい。出会いから生まれた感動体験と問題解決的な学びを蓄積することで、学びに向かう力やふるさとに誇りをもって大切にしようとする姿が見られた。	・「みんなでチャレンジ！ つくろう！たんけんしよう！なかよし35」(2年) ・「柿崎 すてき発見」(3年) ・「未来につなぐ柿崎の宝」(6年)
37	上下浜小	・学校に関わる多くの「ひと・もの・こと」との結び付きを深めながら、地域と共にある「くじら学校」らしい教育活動を通して、教育目標である「ふるさととくじら学校を愛し、自信をもって行動する浜っ子」の実現を目指した。	・「いきものだいすき」(1年) ・「野菜だいすき」(2年) ・「上下浜の達人から学ぼう」(4年)
38	下黒川小	・主体的に学ぶ力を高めるために、子どもたちの興味・関心にあった課題を子どもたちと共につくり、課題解決していく過程を大切にしたい。課題に対して、自ら「知りたい、調べたい、伝えたい」と意欲的に活動したり、子どもたち同士で相談したり、協力したりして課題解決に向かう姿が見られるようになった。	・「下黒川るるぶ」(低学年) ・「柿崎でタッチ」(中学年) ・「柿崎クリエイター～まち・みち・わたし～」(高学年)
40	大潟町小	・地域の教育資源を活用し、体験的・創造的な活動を進めた。話し合い活動や言語活動の充実を図り、課題に協働的に取り組むことを通して、自己有用感が高まり、ふるさと大潟のよさを実感し、自分もふるさとを大好きといえる児童の姿が随所に見られた。	・「ヤギの飼育」「野菜づくり」(1, 2年) ・「大潟の名産品いちじく大作戦」(3年) ・「20歳の自分へ～酒造りから考える～」(6年)
41	南川小	・上越地域の「人・もの・こと」と関わる活動を、生活科や総合的な学習の時間を中心に道徳や特別活動とも関連させながら推進した。主体的に学ぶ子どもの姿を、学校だよりやホームページ等を通じて保護者、地域に広く発信するよう努めた。	・「みんななかよし」(1年) ・「発見！南川探訪～保倉川～」(4年) ・「チャレンジ！米プロジェクト」(5年)
42	大漢小	・子どもが将来の夢や目標がもてるように、地域の「ひと・もの・こと」に触れながら、野菜の栽培や稲作体験、地域へのボランティア活動等を行った。活動を通して、子どもたちは地域の人の知恵や温かさを感じ取ったりだけでなく、地域の将来について考えたり、地域への思いを感じ取ったりすることができた。	・「ベジ たべる たんけん たい！」(2年) ・「きぼう米育成プロジェクト」(5年) ・「みらい STORY ～伝えたい大漢 これからの大漢～」(6年)
43	明治小	・地域の教育資源を活用し、探究する時間を十分に確保した。池や森、稲栽培、人との出会い等、地域の教育材と繰り返しかかわることを通し、ふるさとへの愛着と地域や人と進んでかかわろうとする意欲を高めることができた。	・「大池小池にじいろ・つばさたんけんたい」(3・4年) ・「食べる」(5年) ・「自分の将来像をみつけよう<つくる・つながる>」(6年)
44	吉川小	・生活科・総合的な学習の時間と連動し、学年ごとにテーマを設定して、吉川区の自然や文化、人々との触れ合い、体験活動を大切にしたい学習に取り組んだ。活動を通して、ふるさと吉川のよさを実感するとともに、自己有用感を高めることができた。	・「わたしたちの 野さいばたけ」(2年) ・「吉川の大切さを発見しよう」(4年) ・「発見！発信！吉川のよさ」(6年)
45	中郷小	・地域の人と出会い、地域の人とかかわることを大切にして各学年で活動を構想し、実践を進めた。子ども一人一人が、地域に生きる自分を感じ、地域にあるもの、ことへの意識を高めるとともに、地域の人に支えられていることを実感しながら活動した。	・「自分を探そう」(6年) ・「ようこそ地域の達人」(4, 5, 6年) ・「ようこそ先輩」(全校)
46	板倉小	・郷土の偉人や板倉の自然、人との関わりを通して、「ふるさと板倉」への愛着と誇りをもち、「ふるさと板倉」の未来と自分の将来に希望と夢を描く児童の育成を目指した。「体験」と「人との関わり」をキーワードに、生活科や総合的な学習の時間と関連を図りながら活動を行った。	・「みんなとなかよし よろしくね ～ひつじさんとなかよし～」(1年) ・「大すき板倉 すてきを探そう！ にじっ子探検隊」(3年) ・「板倉の『かがやく人』から学ぶ」(6年)

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
49	豊原小	・探究的な学習において、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組むとともに、情報を整理・分析し、地域の特徴やよさを学び、表現することで自己の生き方を考え、積極的に社会に参画し、「ふるさと豊原」を愛する態度を育てる活動を展開した。	・「つながるいのち みんなともだち！みんななかよし！」(1年) ・「ぼくたち わたしたち 板倉たんけんたい」(3年) ・「豊原米 つくり隊 たべ隊 しらべ隊」(5年)
50	清里小	・清里らしさを生かす稲文字栽培活動、地域の自然や文化、産業を学ぶ活動を中核として、「地域のひと・もの・こととつながり、ふるさと清里を愛する子」の具現を目指して、生活科、総合学習を展開した。	・「水と生きるわたしたち」(4年) ・「かなで米作りに学ぼう」 ～知ろう・調べよう・伝えよう～(5年) ・「SDGsじょうえつ・きよさと2030 ～わたしたちにできること～」(6年)
51	里公小	・自ら気付き判断する力を育成するため、本物とかかわる体験活動を重視した。地域の資源を活用し、米作りや三和区の魅力の発信を学んだ。活動を通して子どもたちは自分の未来についてビジョンを描くようになった。	・「耳をすまそう 目をこらそう ～やさいをそだてよう～」(2年) ・「食べ物の向こう側 米ライフ きぼう米」(5年) ・「働くって何だろう 職業人から学ぼう 体験から学ぼう」(6年)
52	上杉小	地域のよさを見付け、地域を愛する心情を育てるため、地域の教育材に触れながら課題を見付け、仲間と話し合いながら知恵やアイデアを共有させる過程を大切にしたい。	・「さつまいもとなかよし」(1年) ・「わたしたちの野菜ランド」(2年) ・「地域に学び、地域に返す！ わたしたちの“つばさ米”」(5年)
53	美守小	・地域の教育資源を活用し、野菜作りや米栽培、地域の水の環境、防災・福祉の活動を行った。物事を深く知ることで、先人たちが多くの加太を乗り越えてきたことや自分たちも含めた課題に目を向けることができた。	・畑で野菜作り、ヤギの飼育(1, 2年) ・水と環境(3, 4年) ・米作り(5年) ・防災・福祉(6年)
54	宝田小	・地域に誇りをもち、自信をもって行動できる子どもを目指し、地域の「人・もの・こと」の関わりを大切にしたい。対象に没頭する中で、自ら問題意識をもって追究する子どもたちが育ってきた。	・「名立区のお宝発見」(3年) ・「里山の自然から学ぼう」(4年) ・「名立の食」(5年)

令和4年度 夢・志チャレンジスクール事業 学校別事業実施内容一覧

中学校

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
1	城北中	・中ノ俣地域や本町の魅力と課題を再発見する探究活動を行った。地域の方々との交流を通し、持続可能なまちづくりの在り方についてまとめた。城北祭（文化祭）では本町商店街とコラボレーション企画を実施し、オリジナル商品や各種体験コーナーなど様々なブースを設置した。	・「ナカノマ探」(1年) ・「そうだ！本町に行こう」(2年) ・「私の羅針盤」(3年)
2	城東中	・充実感をもたせながら、生徒の思いやりの心や自己肯定感を高めていく取組を教育活動の中核として推進した。活動を通して、自分を見つめ直し、今後の生き方を考えるようになった。	・「快適な衣生活」「働くこと」について考える(1年)
3	城西中	・多様な他者と協働し、課題を解決する場を設定し、自己肯定感や自己有用感を高め、自己実現を志す生徒を育成することをねらいとした。	・「職業人に学ぶ会」(1・2年) ・「音楽祭」(全校)
4	雄志中	・地域住民と協働し、地域住民から学ぶ取組を通して、生徒は郷土への愛着や地域の一員としての意識を高めるとともに、自己有用感を高めた。同時に、自分の将来を考えるとともに、将来設計への意識を高めた。	・「花いっぱい活動」(全学年) ・「雄志太鼓の演奏学習」(有志生徒) ・「生き方講演会」(全学年)「偉人学習」(1年)
5	八千浦中	・地域とかかわり、連携を深めながら、キャリア教育を核とした教育活動を展開することで、生徒自らが進路及び将来への意識を高めることにつながった。	・「八千浦学園学校保健委員会」(全学年) ・「職業講話」(2年) ・「八千浦学園発表会」(全学年)
6	直江津中	・当校のスクールポリシーである「いざ世のために」の実現に向け、また、自己の生き方を考え、夢や目標の実現に向けて取り組む活動を行った。体験活動や講話、訪問を通して、自己を見つめ直し、自己の生き方を考えるようになった。	・「直江の津」(1年) ・「職業講話」(2年) ・「進路探究学習」(3年)
7	直江津東中	学校運営協議会・直東学園運営協議会などの協力のもと、全学年において計画的・系統的に、人権教育、キャリア教育を実施した。	・「いじめ・見逃しゼロスクール集会」(1年) ・「立志式」(2年) ・「先輩に学ぶ会」「天文学習」(3年)
8	春日中	・夢や志をもって計画的に学習や活動に取り組み、社会や地域のために貢献できる生徒へと成長できることを目指して、活動を行った。地域においての貢献活動等では命の大切さや自らの望ましい姿をじっくりと考えることができるように変容した。	・「スプリング・トライアルデー」(全学年) ・「職業講話」(2年) ・「命・絆講演会」(3年)
9	潮陵中	・地域の方を講師として、地域の自然、産業文化、歴史について学ぶ体験活動を行った。活動を通して地域の一員、さらには有形無形の様々な遺産の継承者としての意識が高まった。	・地域お宝めぐり(1年) ・鮭捕獲体験(全校) ・鮭加工体験(全校)
10	安塚中	・安塚の地域が大切にする活動に、中学生が積極的に参画することにより、自己有用感やふるさとを愛する気持ちを育成した。	・「花いっぱい運動」(全校) ・「地域訪問」(全校) ・「演劇祭」(全校)
11	浦川原中	・地域の方との出会いや関わりをとおして、挨拶や対人関係に関する態度やスキルを身に付けてきた。また、地域の方から学校の取組や生徒を認め、評価してもらうことで、生徒の自己有用感を高めてきた。活動をおとして、地域の中の学校を意識して、地域との絆を深めることができた。	・「うらがわら花いっぱい運動」(全校) ・「地域の達人に学ぶ会」(全校) ・「お手紙プロジェクト」(全校)

学番	学校名	事業の概要	主な活動例
12	大島中	・体験活動では目標設定と自己評価・相互評価を行うことによって、自他の成長を認め合い、自己有用感を高めることを目指した。知恵を絞り、力を合わせることで自分の未来を前向きに考え切り開いていこうと、自分の進路を主体的に考えるようになった。	・「機械化農業体験」(1年) ・「職場訪問」(2年) ・「全員主役の体育祭」(全校)
13	牧中	・夢や志をもつ生徒を育成するために、現代的なリズムのダンス等で地域を盛り上げる活動をしたり、地域や社会で活躍している講師を招いてミニ講演会を開いたりした。活動を通して、自己肯定感の向上が見られた。	・「よさこい」(小中合同) ・「ミニ講演会」(全校) ・「MAKIフェス」(全校)
14	柿崎中	・ふるさと柿崎を愛し、地域と主体的にかかわることのできる力を高めるため、全校生徒で海岸清掃ボランティアやあいさつ運動に取り組み、故郷を愛する気持ちを強めることができた。	・「時代夏まつり」(全校) ・「海岸清掃ボランティア」(全校) ・「命・きずなを考える講座」(3年) ・「職業人に学ぶ会」(1年)
15	大潟町中	・地域人材とのふれあいや施設の活用を通して、地域の良さを感じることができた。自分のよさを見つめ、個性を発揮できるように取組を作ることので、学ばせし、郷土への愛着や誇りがもてた。夢や志をもち、地域や社会に貢献しようとする努力・行動する姿が見られるようになってきた。	・「体操教室」 ・「ダンス教室」 ・「書写教室」 ・「郷土料理教室」
16	頸城中	・地域環境美化活動、地域活性化活動、夢・志講演会という大きな取り組みの中で、地域とともに活動したり、地域に発信したりする活動を計画し、ふるさとへの愛着を育んだ。	・「花いっぱい活動」(全校) ・「全校ダンス発表会」(全校) ・「くびきの祭典、くびき文化祭」「にいがた総おどり」(吹奏楽部、よさこい部)
17	吉川中	・ふるさと吉川や上越の人・自然に学び、自分の夢や目標に向かってチャレンジする生徒の育成に取り組んだ。地域の大人とかかわることから生徒自らも地域の良さを実感し、愛着を深めることができた。	・「花いっぱい運動」(全学年) ・「地域のお宝発見紹介CM」(1・2年) ・「いのち絆を考える講座」(3年) ・「やっつれ祭り」(総合)
18	中郷中	・「ふるさと中郷に学び、中郷を愛する子ども」の具現化に向けて、小中で連携して「自己有用感を高めること」を共通のビジョンとして取り組んだ。地域と中学生が積極的に関わることを通して、生徒の「地域に貢献できた」という自己有用感の高まりがみられた。	・「高齢者と関わろう」(1年) ・「職業人に学ぶ」(2年) ・「防災学習」(3年)
19	板倉中	・板倉の自然や人との関わりを通して、「ふるさと板倉」への愛着と誇りをもたせ、ふるさとの未来と自分の将来に希望と夢を描ける生徒の育成を目指した。	・「板倉のよさ、地域探訪とSDGs」 ・「生き方講演・地域の先輩や達人に学ぶ」 ・「地域貢献活動(花いっぱい活動)」
20	清里中	・「ひと・もの・こと」とかかわり、語り合う場面や内省する場面等の積み重ねを通して、社会性及び道徳的実践力を備えた生徒を育成する。	・「『徳育の日』の取組(道徳)」 ・「人間関係づくりプロジェクト」 ・「異学年交流」
21	三和中	・「谷内池」の環境整備を、地域住民と一緒に取組むことを通して、地域とのつながりや郷土への愛着を図った。谷内池から採取したオニバスの種子をプールの洗体槽で育て、開花させた。地域全体に改めて谷内池の素晴らしさ伝えることができ、自然保護への意識をより高めた。	・「谷内池の保全活動」(3年) ・「命・絆を考える講座」(3年) ・「親子で職業を学ぶ会」(2年)
22	名立中	プロに学ぶ会では、3組の講師を招聘し、生徒の興味関心に応じた講話を聞き、体験学習を行った。2学年の職場体験学習と合わせ、将来について具体的に考える機会となった。地域貢献活動では学区の清掃活動や施設の整備活動を行った。地域と協力して作業をする場面では、作業を教わったり、逆に感謝されたり積極的に関わる姿が見られた。	・「プロに学ぶ会(職業講話・体験)」(全校) ・「地域貢献活動」(全校) ・「音楽祭ミニコンサート」(全校)